

アンパンマン カプセルくるくるお皿でポン！楽しい回転ずし DX の修理法（回転台が回らない）

2025.09.18

トミー・マック

1. 外 観

おもちゃ名は「アンパンマン カプセルくるくるお皿でポン！たのしい回転ずし DX」。

(株)ジョイパレット製で、2017年の発売です。



2. 特 徴

お皿をいれてカプセルゲット！くるくる光って楽しい、アンパンマンの回転ずしやさん。

- お皿カウンターにお皿を入れると、効果音が流れてカプセルがポンと出てくる。
- カプセルの中には、アンパンマンとなかまたちのかわいい人形が入っている。
- 回転ボタンを押すとアンパンマンがおしゃべりをして、キラキラ光るバイキン UFO とカプセル・ターンテーブルがくるくる回る。
- ネタとシャリは取り外して、おすしを握る遊びも楽しめます。

3. 故 障

モータとギアで構成された駆動部で回転台を回し、同時に上の透明ドーム内のカプセルを、回転羽根でかき混ぜます。また、オーダー・お会計・お茶などのおしゃべりボタンや回転開始/停止のボタンもあります。従ってギアなどのメカや、プリント基板の腐食やスピーカの故障が起きることがあります。

今回の故障は、電源を入れても**回転台やドーム内の回転羽根が回らない故障**です。

4. 原 因

故障症状の分析と分解および修理過程で分かったことは、

- 駆動部のギア（m0.5/10 歯/軸穴φ2mm）が**割**れています。→ 経時による劣化。
- 組み戻し時に、ドーム内の回転羽根のシャフト先端の直方体と、駆動部のシャフト先端の角穴軸受けとが**噛み合せ不良**。
→ 修理作業ミス。

対応は、

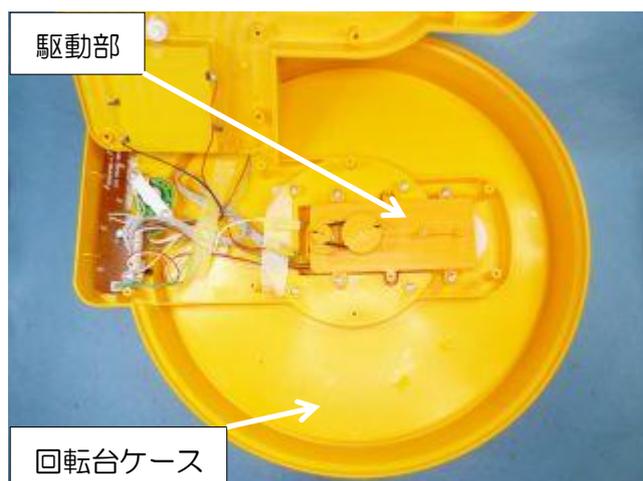
- 駆動部のギアを新品に交換します。
- 回転羽根のシャフトの先端の直方体と、駆動部のシャフト先端の角穴軸受けの噛み合わせを修正。

5. 修 理

（1）駆動部カバーの外し

○印のネジ（タッピング 3X8）9本を外します。

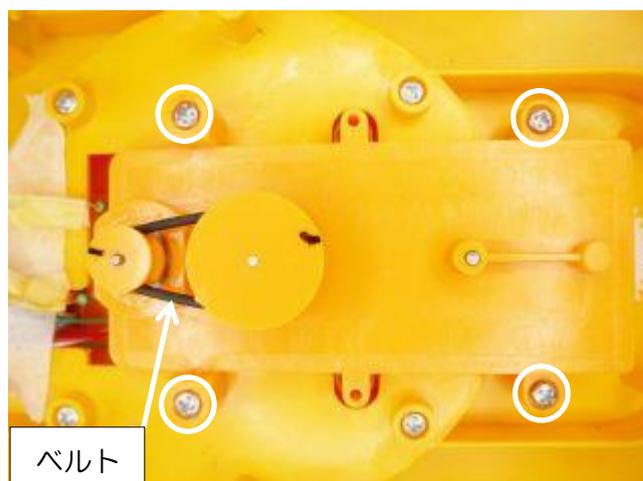
アンパンマン カプセルくるくるお皿でポン！楽しい回転ずし DX の修理法（回転台が回らない）



(2) 駆動部の外し

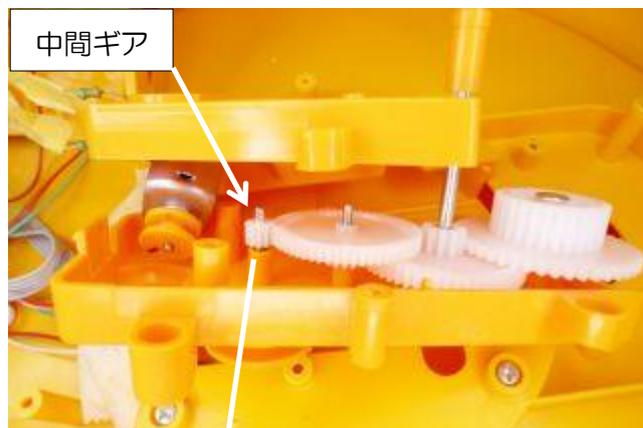
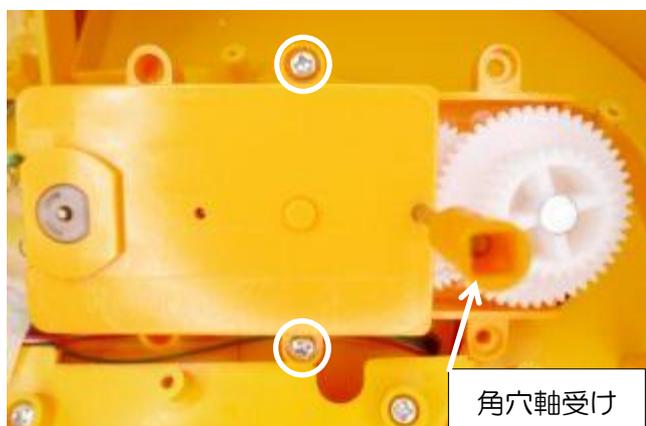
○印のネジ（タッピング 3X8）4 本を外します。

そしてベルトも外します。



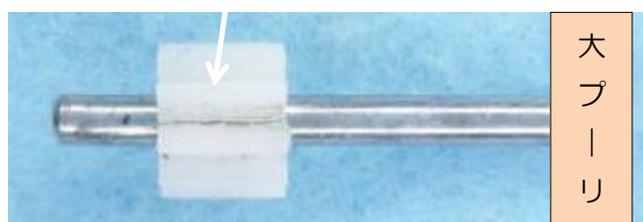
(3) 駆動部ケースの外し

駆動部を裏返し、○印のネジ（タッピング 3X8）2 本を外します。



この中間ギアが割れています。

回転台が回らない原因がこれです。



(4) ギアの交換

新しいギア（m0.5/10 歯/軸穴φ2mm）に交換します。

これで、原因追及と **修理完了**。のはずでしたが・・・

アンパンマン カプセルくるくるお皿でポン！楽しい回転ずし DX の修理法（回転台が回らない）

駆動部ケースをネジ（タッピング3X8）2本で留め、裏返して回転台ケースにネジ（タッピング3X8）4本で留め、ベルトを掛けたら回転台が回りましたが、今度は上のドーム内のカプセルの回転羽根が回りません。なぜ???

原因追究のため、念のため上ドームとドーム支持円柱を分解し、カプセルの回転羽根の機構を調べましたが問題はありません。（長くなるので、経過の説明と画像を省略します。）

回転羽根が回らない原因として考えられるのは、駆動部のシャフト先端にある角穴軸受けを挿入孔に差し込み、ドーム支持円柱内の回転羽根のシャフト先端にある直方体と正しく噛み合わせる必要がある点です。しかし、挿入孔の内部が暗くいため、シャフトの直方体が視認できず、しかも奥の方にあるため、噛み合わせが正しく行われていないことが原因であると判明しました。

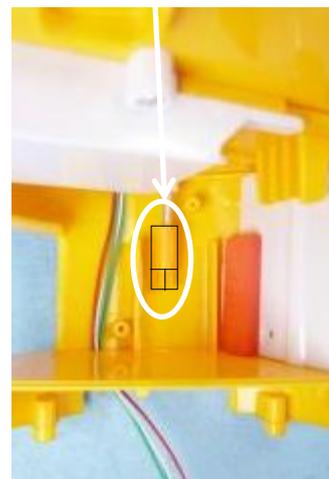
駆動部の角穴軸受け



回転台ケースの挿入穴



直方体



今回学んだ、シャフトの角穴軸受けと直方体を簡単かつ確実に噛み合わせる「コツ」は、駆動部の角穴軸受けを回転羽根の直方体に正確に合わせなくても、軽く被せておき、電源を入れて軸受けを回転させれば、自動的に直方体に噛み合わせる方法です。

これで、今度こそ原因追及と **修理完了**。

(6) 元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻しで要注意点のみ記載します。

既に駆動部のシャフトの角穴軸受けと、回転羽根のシャフトの先端の直方体とが噛み合っているため、それ以降を説明します。

...(a) 駆動部のネジ留め

ネジ（タッピング3X8）4本で留めます。

...(b) 駆動部カバーのネジ留め

ネジ（タッピング3X8）9本で留めます。

完 成。

終わり